

博物館だより



No.155

令和元年10月1日

みやこ町歴史民俗博物館発行
福岡県京都郡みやこ町豊津1122-13
TEL 0930-33-4666
FAX 0930-33-4667

◆博物館NEWS 「みやこ遺産」を活かす Miyako Heritage Festival 第7回みやこ町古墳まつり開催!

日時：10月20日(日) 場所：テーマゆかりの町内史跡&博物館

主な学習イベント

★午前の部(9~11時)

歴史たんけんウォーク

みやこの元号縁地めぐり

*要申込/定員20名(先着順)

*参加費200円

*雨天時は内容等変更

★午後の部(13~16時)

歴史文化レジン(芸術&文化体験)

①豊前神楽(上伊良原神楽保存会)

②文化講演会「新元号令和とみやこ」

「みやこ町から見た昭和・平成・令和」

当館学芸員 井上 信隆

「令和のふるさと大宰府そして豊」

大宰府発見塾塾長 森 弘子氏

*要申込(定員60名) 参加費無料

③まつり記念絵画・作文コンクール展示と表彰

※詳細はHPやポスター等ご覧になるか博物館までお問合せ下さい。

古墳をはじめとしたみやこ町の豊かな文化遺産を活かしたまちづくり・「楽習」の場づくりを進める学びの祭典「みやこ町古墳まつり」。7回目を迎える今年のテーマは「新元号令和とみやこ」です。



▲写真は昨年の様子
[上:芸術鑑賞/下:講演会]

◆講座・教室・催し物ガイド 10月の歴史講座

【漢詩紀行講座】

10月5日(土) 9時30分

【古文書講座】

10月12日(土) 10時

【古典かな講座】

10月19日(土) 9時30分

【みやこ学講座】

10月26日(土) 10時

※日程等変更となる場合があります。
※見学会等は別途ご案内します。

博物館で「楽習」しませんか?

あなたも一緒に学びませんか?

どなたでも、今からでも、お申し込みもOKです。詳しくは博物館へ!

①歴史講座(講座4種/上記参照)

館や町内外の文化遺産を題材に、町の歴史と文化を学びます。

②文化遺産ボランティア養成講座

町の宝を自分達の手でガイド&ガイドできるよつ楽習する講座です。

③博物館友の会

「故郷を楽しく学ぶ」がモットー。

11月のバスハイクは貴方も一緒に!

8・9月の業務日誌から



▲郡長正の墓前では豊津郷土史会の皆さんが歓迎しました



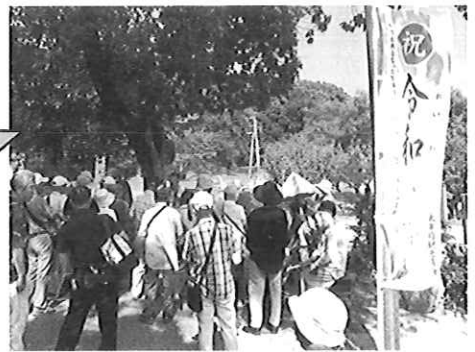
▲「弥生時代の専門家」がみた感想は?詳細は裏面で。

8月4日(日)、友の会と共催で夏のバスハイク研修を実施しました。研修では九州国立博物館で「室町將軍展」を見学したのち「令和のふるさと」として注目を集める大宰府史跡周辺を散策しました。

8月19日(月)、会津若松市(福島県)子ども会育成会研修生約30名の皆さんが、県外研修で当町を訪れました。みやこ町子ども会代表との交流や郡長正の墓参等行い、博物館もガイド役で支援させて頂きました。

8月20日(火)から5日間、大谷大学の福田啓史さんが、学芸員資格取得のため、博物館実習にみえました。文化財の記録や取扱い方法から館内の解説まで様々な体験をしていただきました。

8月22日(木)吉野ヶ里歴史公園の職員がみやこ町から出土した弥生時代の遺物の調査を行いました。「吉野ヶ里でも出土していない遺物」もみられるなど、驚きの様子でした。



▲坂本八幡神社では名実ともに「暑い」ガイドをいただきました



▲実習と併せ、「故郷の文化財」について詳しく学習する機会となりました。

みやこの歴史発見伝 121

「卑弥呼の時代」の

みやこの町

速報！みやこの出土遺物が
吉野ヶ里遺跡に展示されました！

る有力者の墓が検出され、埋葬施設の石棺から銅鏡が出土しています。

黒田工ノヲ遺跡

(勝山黒田)

「邪馬台国論争」とみやこの町近年、「邪馬台国」の所在地についての論争が再燃し、各地で行われている発掘調査の最新情報をもとに、様々な研究者が、それぞれの候補地を挙げています。このような傾向の中で、その候補地の一つとして京都平野を推す研究者もみられます。

町内にみられる「卑弥呼の時代の遺跡」から出土した遺物は、「国内初」や「国内最大」など全国的にみても歴史的価値が高いものが多くみられます。これまで古墳や古代寺院跡などの遺跡が注目されてきたみやこの町の埋蔵文化財ですが、今回は、この弥生時代を代表する町内の遺跡についてご紹介いたします。

小長川遺跡 (勝山長川)

弥生時代の終わり頃の遺跡で堅穴住居跡、お米などの貯蔵庫跡とともに、「方形周溝墓」とよばれる、古墳の前段階にあたる

堅穴住居跡が11軒、お米などの貯蔵庫跡147基を検出した大規模な集落遺跡で、この地域における弥生時代の集落を研究する上で重要な遺跡に位置付けられています。現在とは異なり、当時は非常に高価であったガラス製の勾玉をはじめ膨大な量の石器・土器が出土しました。

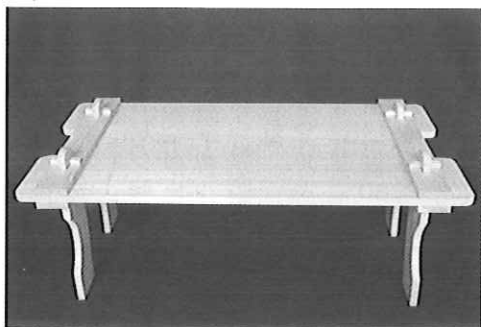
徳永川ノ上遺跡(みやこの町徳永)

石棺墓や墳丘墓など弥生時代終末から古墳時代初頭にかけての墓地が調査され、銅鏡や勾玉、刀剣など、いわゆる「三種の神器」を含む様々な副葬品が出土しました。弥生時代のものとしては国内最大を誇る鉄製の釣針が出土したことは特に注目されます。

国作八反田遺跡(みやこの町国作)

弥生時代の終わり頃の遺跡で、大きな溝跡の調査では、大量の木器が出土しました。この中には

は、「案」とよばれる組み合わせ式の精巧な机が含まれており、この形状の机は、国内初の出土例であることが確認できました。また当時、珍重された「銅戈」とよばれる武器形の祭器が破棄された状態で出土した事例も他にはみられないものです。この溝で非常に重要な祭祀が行われていたことがうかがえ、当時の精神文化を研究する上で重要な事例の一つとなりました。



国作八反田遺跡出土案(復元品)

大熊条里遺跡 (犀川大熊)

堅穴住居跡11軒や、お米などの貯蔵庫跡71基が検出されました。ここから出土した土器の中には、弥生土器としては珍しく黒・赤の顔料で丁寧(ていねい)に彩色を施したものとや瓢箪形(ひょうたんがた)で精巧な文様を刻んだ壺など、この地域では

一番華やかな弥生土器が出土しています。



大熊条里遺跡出土瓢箪形壺

犀川小学校校庭遺跡(犀川本庄)

この地域の発掘調査の先駆けとなった遺跡として知られ、犀川小学校の新校舎建設に伴って68年ぶりに調査された際にはお米などの貯蔵庫跡が20基検出されました。この調査では、児童・保護者による体験発掘調査が実施されました。

吉野ヶ里遺跡に展示

歴史の教科書でおなじみの吉野ヶ里遺跡は現在、特別史跡の指定を受けた、弥生時代を代表する遺跡として全国的に知られています。この度、みやこの町の弥生時代を代表するこれらの出土遺物がこの吉野ヶ里遺跡で展示されることになりました。展示に先立ち、吉野ヶ里歴史公園の担当者と共に、吉野ヶ里遺跡でも出土例が確認できない遺物が多く含まれていることが判明しました。(表面参照) 吉野ヶ里歴

史公園の担当者から、「想像以上に弥生時代の出土遺物の内容が充実している。」とのコメントをいただきました。これらみやこの町の出土遺物は、現在、吉野ヶ里歴史公園で開催されている「よみがえる邪馬台国展」(9月21日(土)～11月10日(日)まで開催)でご覧いただくことができます。郷土の資料を「弥生」の檜舞台(ひのきたい)である吉野ヶ里遺跡で見ていただければ、みやこの町の歴史も違って見えることでしょう。この展示をきっかけに「邪馬台国論争」に「一石を投じることができませんか？」かもしれません。秋の行楽を兼ね、是非ご覧いただきたいと思っております。

(井上信隆)



丁寧な梱包を施し、吉野ヶ里へ出発!